



一般社団法人
カメラ映像機器工業会
Camera & Imaging Products Association
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-8-10 MA 芝浦ビル 3階
TEL. (03) 5442-4800 (代表)

PRESS RELEASE

2018年2月1日

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA)

2018年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA: 代表理事会長 牛田一雄) は、このほど 2018 年カメラ等品目別出荷見通しをまとめた。

1. 2017 年出荷実績

総出荷対前年比はデジタルカメラ 103.3%、交換レンズ 100.2%。

2017 年 (1~12 月累計) のデジタルカメラ総出荷実績は 24,978,486 台 (別表は十万台単位とした)、対前年比 103.3%となった。

1999 年の統計開始以来、2007 年に 1 億台を突破するなど右肩上がり推移したが、世界的な景気後退の影響を受けた 2009 年に初めて減少、2010 年こそ増加したものの 2011 年には東日本大震災やタイ国洪水によって深刻な打撃を受けて再び減少、これ以降も減少が続いたが、2017 年に至り増加へと転じた。

2016 年春に発生した熊本地震はデジタルカメラ主要部品大手の工場を直撃して一時操業停止の事態となるなどデジタルカメラの生産に影響を及ぼしたが、当該部品の供給が同年秋以降に再開し始めたことを考慮するなら、2017 年実績は、熊本地震による落ち込みからの反動的な側面はあるものの、需要の実力値が反映されたものと見ることができる。

2017 年 (1~12 月累計) のレンズ交換式カメラ用レンズ (交換レンズ) 総出荷実績は 19,220,599 本、対前年比 100.2%となった。

熊本地震の反動要因は小さいと思われる交換レンズの実績値が僅かながら増加を示したことから、当業界の商品群に対する揺るぎない需要の存在を確信する。

「レンズ一体型デジタルカメラ」「レンズ交換式デジタルカメラ」とともに増加。

「レンズ一体型デジタルカメラ」(いわゆるコンパクトデジタルカメラ) は 13,302,797 台、対前年比 105.7%となった。

「レンズ交換式デジタルカメラ」は11,675,689台、対前年比100.6%となった。

両カテゴリーがともに増加を示す結果となったが、中でも「レンズ交換式デジタルカメラ」はそれ自体が高付加価値・高単価商材であると同時にこれに対応する交換レンズを買い揃える際の基盤であり、撮影システムの中核。同カテゴリーが僅かながらでも増加に転じたことは当業界にとってとりわけ明るい材料といえる。

多様な機材の組み合わせで多彩な写真表現に取り組んでいただける熱心なカメラファン、写真ファンの存在に後押しされる形で、デジタルカメラに占める「レンズ交換式デジタルカメラ」の構成比は、5年前、2013年当時の27%、およそ3割から、2017年は47%、およそ5割にまで高まった。

一方、地域別実績は、デジタルカメラ全体では、「日本向け」100.0%、「日本向け以外」103.8%。「レンズ一体型デジタルカメラ」では、「日本向け」102.9%、「日本向け以外」106.3%、「レンズ交換式デジタルカメラ」では、「日本向け」95.0%、「日本向け以外」101.3%。

交換レンズでは、「日本向け」93.6%、「日本向け以外」101.2%となった。

「日本向け」がリードする年も「日本向け以外」がリードする年もあるが、長期的には「日本向け以外」の比率が高まる傾向にあり、2017年も「日本向け」に対して「日本向け以外」がより好調に推移した。

2. 2018年出荷見通し

2018年（1～12月累計）のデジタルカメラ総出荷は、2千340万台、対前年比93.6%、内「日本向け」330万台、94.3%、「日本向け以外」2千10万台、93.5%と見通した。

タイプ別では、「レンズ一体型デジタルカメラ」は1千210万台、対前年比91.0%、内「日本向け」210万台、91.3%、「日本向け以外」1千万台、90.9%、「レンズ交換式デジタルカメラ」は1千130万台、96.6%、内「日本向け」120万台、100.0%、「日本向け以外」1千10万、96.2%と見通した。

スマートフォンで写真に目覚め、その後スマートフォンでは決して撮ることのできない写真表現を志してデジタルカメラを買い求めるステップアップ需要のほか、既存のデジタルカメラユーザーが写真という趣味、楽しみ、生きがいを突き詰めるために更に上位のデジタルカメラに買い替える・買い増すもう一つのステップアップ需要への期待が依然高く、「レンズ交換式デジタルカメラ」が更に存在感を増す展開を見通した。

交換レンズは、1千860万本、対前年比96.9%、内「日本向け」230万本、95.8%、「日本向け以外」1千630万本、96.4%と見通した。

「レンズ交換式デジタルカメラ」（カメラ本体側／ボディ側）と対を為す同カメラ用交換

レンズは、一本買い増すごとに写真表現の可能性を顕著に拡げていくもう一方の主役。

交換レンズの出荷本数は「レンズ交換式デジタルカメラ」の出荷台数に対して1.6～1.7倍ものスケールを誇っており、2018年も同様のバランスで見通した。

以上

2018年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会

単位: 十万台(レンズは十万本)

品目	総出荷											
					日本向け				日本向け以外			
	2017年実績	前年比	2018年見通し	前年比	2017年実績	前年比	2018年見通し	前年比	2017年実績	前年比	2018年見通し	前年比
デジタルカメラ<合計>	250	103.3%	234	93.6%	35	100.0%	33	94.3%	215	103.8%	201	93.5%
レンズ一体型	133	105.7%	121	91.0%	23	102.9%	21	91.3%	110	106.3%	100	90.9%
レンズ交換式	117	100.6%	113	96.6%	12	95.0%	12	100.0%	105	101.3%	101	96.2%
レンズ交換式カメラ用 レンズ	192	100.2%	186	96.9%	24	93.6%	23	95.8%	169	101.2%	163	96.4%

注: 数値のうち四捨五入により計算の合わないものがある。

この件に関する問い合わせ先：
 一般社団法人カメラ映像機器工業会
 E-mail : infostat@cipa.jp
 URL : <http://www.cipa.jp/>